

2026年FIFG競技規則

1. 概要 & ミッションステートメント

FIFG 競技および 2026 年ワールドツアーは、すべてのプレーヤーが自身の実力に応じて、世界（ワールドランキング）、地域（地域ランキング）、国内（ナショナルランキング）の各段階でプレーし、競い合うことができるという理念に基づいています。

このミッションは、各加盟国（MC）がさまざまな競技大会のプラットフォームを提供することで、全世界のプレーヤー間で友情、仲間意識、競争心を育むことにあります。加盟国が開催できる大会の種類は、登録プレーヤー数によって測られるその国のスポーツ発展度合いによって決まります。

1.1 一般指針

FIFG ワールドツアーは、国際フットゴルフ連盟（FIFG）の競技規則に基づいて実施されます。すべての大会は、公式規則に沿って運営されるものの、ローカルルールが適用される場合もあります。全ローカルルールは、各大会の開始前にプレーヤーが確認できるようにしておく必要があります。

各加盟国（MC）がイベント主催する際、FIFG の大会運営指針に厳格に従う必要があります。規則違反があった場合や、大会前に適切な対応がなされなかった場合には、ペナルティが課せられます。国や地域によって異なる事情があることを考慮し例外が認められる場合もありますが、その場合は事前に協議し、年間スケジュール確定前に決定する必要があります。

ワールドツアーには、ワールドランキングと地域ランキングの 2 種類のランキングがあります。

1.2 2026 年の変更点

- ワールドカップ 1000 FIFG ポイント
- FIFG50 ポイント
- FIFG250 大会の削減
- ランキングカウントイベント
- 大会日程の重複調整の改定
- 重複調整の解決法
- ジュニアランキング
- ジェネラルフィー調整
- プレー進行ペースの規制と管理義務

2. 地域区分

- 地域 1: 北米・中米・カリブ諸国（ノースアメリカンツアー）
- 地域 2: 南米（サウスアメリカンツアー）
- 地域 3: 欧州（ユーロフットゴルフツアー）
- 地域 4: アジア・オセアニア（アジアパシフィックツアー）
- 地域 5: アフリカ（アフリカンツアー）

3. ワールドツアー & 地域ツアー

3.1.1 大会の種類と配分

翌年の大会開催権の入札プロセスについて、FIFG は加盟国のワールドツアーライセンスについて、その年の 10 月 31 日までの加盟国のワールドツアーライセンス数とします。

FIFG ワールドマスターズ

マスターズは、ワールドカップが開催されない年に実施されます。ワールドマスターズには、前年のワールドランキングおよび地域ランキングの上位選手が出場資格を得るという出場資格システムがあります。各地域は、地域ごとのマスターズ大会を開催し、出場資格を持つ選手を決定することが可能です。また、出場資格を持つ選手の確定後、他のプレーヤーも参加可能となります。

ワールドマスターズでは 1000FIFG ポイントが付与され、ワールドランキングのみに反映されます。

FIFG は、ワールドツアーまたは地域ツアーのランキングポイントが付与されるあらゆる大会において、『マスターズ』という名称を独占的に使用する権利を有します。

FIFG メジャー – FIFG 1000

今後の FIFG メジャーおよび FIFG500 について、加盟国（MC）が入札に参加するために最低限の資格基準を満たす必要があります。この基準の詳細は 2026 年第 1 四半期に発表される文書に記載されます。入札プロセスについては、FIFG の入札手順書をご参照ください。

FIFG メジャーでは、ワールドランキングおよび地域ランキングにおいて、1000FIFG ポイントを付与します。2026 年には合計 7 つのメジャー大会が開催され、地域ごとの配分は以下の通りとなります：

地域 1	1
地域 2	1
地域 3	4
地域 4	1(TBC)
地域 5	0(TBC, 最低 260 ライセンスが必要)

(メジャー大会の開催が決定した加盟国が、大会を開催できなかった場合、最低2年間メジャー大会の開催資格を失います。ただし、やむを得ない事情がある場合は、FIFGへ異議申し立てを行うことができます)

FIFG500

地域	開催数
地域 1	3 - 4 *
地域 2	3 - 4 *
地域 3	10
地域 4	3 - 4*
地域 5	1 大会保証(最低 230 ライセンス保持で 2~3)

*地域 1、2、4 は国と国に距離があるため柔軟に対応します。これらの地域は、シーズン開始前に FIFG へ FIFG500 の開催数を申請し、承認を得る必要があります。各地域は、ワールドランキングの最低要件を満たすために最低 3 大会の FIFG 500 を実施することが推奨されています。

FIFG 1000 を開催する加盟国は、前年 (2027 年は 2026 年基準で 570 ワールドツアーライセンス以上) のワールドツアーライセンス数 (WTL) 合計の 12%以上を保持していない限り FIFG 500 を開催できません。

地域の申請を通じ、FIFG 理事会へ FIFG500 の追加開催を申請することもできます。

特別スポンサーイベントやプロモーションイベントに関しては、FIFG 競技委員会の提案に基づき、FIFG 理事会が追加の FIFG500 を承認することがあります。

FIFG250

全ての加盟国 (MC) は、最低 1 大会の FIFG 250 を開催することができます。これにより、全加盟国は自国で最も重要な大会を、最低でも FIFG 250 として開催することが可能となります。

FIFG 500 またはメジャー大会の招致に成功した国が、そのスケジュールに FIFG 250 を組み込むには、最低 120 のワールドツアーライセンスを保有していなければなりません (地域 3 のみに適用)。

FIFG の「選手一人あたりの平均ポイント (Points per player)」が 9 ポイント未満の加盟国は、その平均を 9 ポイント以上に引き上げるために、追加の FIFG 250 を開催することができる。これは FIFG 競技委員会によって決定され、当該加盟国に通知される。

また加盟国の「プレーヤー 1 人あたりの獲得ポイント」平均が 9 ポイント以下の場合、平均を 9 ポイント以上に引き上げるために FIFG 250 の追加開催が認めら、これは FIFG 競技委員会によって決定され、当該加盟国に通知されるものとします。

各地域は、ワールドランキングの最低要件を満たすために最低 3 つの FIFG 250 大会を開催するよう努めなければならない。

FIFG100

これらは、地域ランキングのみに対象となる大会です。加盟国は、ワールドツアーライセンス数に応じて最大 14 大会まで FIFG 100 を開催することができます。また、最低開催数も設定されており、選手を国際舞台（地域・世界）に導くために必要不可欠とされています。

開催数幅	最大	最低
ライセンス数 250+	14	10
200+	13	9
180+	12	8
150+	10	7
125+	9	6
100+	8	5
80+	7	4
50+	6	3
50-	5	1

2027 年シーズン用（2026 年実績）

開催数幅	最大	最低
ライセンス数 300+	14	10
250+	13	9
200+	12	8
180+	10	7
150+	9	6
125+	8	5
100+	7	4
80+	6	3
50+	5	1
50-	4	1

FIFG 50

これらの大会は、地域ランキングにのみ反映されます。FIFG 50 大会は、地域フットゴルフへのエントリーレベルの大会であり、新規プレイヤーが競技に溶け込むための経路として設計されています。加盟国が開催できる FIFG 50 大会の数に制限はありませんが、地域ランキングにカウントされるのは 2 大会のみとします。FIFG 50 は、ワールドツアーライセンスまたはレクリエーションライセンスのいずれかを保持するすべてのプレイヤーが参加できます。このレベルの大会では、いかなる賞金も設定することはできず、これらの大会は、他の大会と同日、同会場で開催することができますが、ポイント獲得のために他の大会のラウンドと共有することはできません。

注意事項:

FIFG 加盟国は、複数ラウンドを実施する FIFG 大会内で FIFG ランキング対象の大会を開催することは禁止されています。例:36 ホール大会の FIFG250 を開催する場合、第 1 ラウンドで FIFG100 を、または第 2 ラウンドで FIFG100 を開催することはできません。例外は認められません。

これに違反した場合、当該加盟国は翌年に FIFG500、メジャー、またはマスターズを開催することはできません。

FIFG500 または FIFG1000 大会と同日・同コースでローカル大会を開催することは禁止されています。ただし、事前に競技委員会の承認を受けたプロモーション大会は例外となります。FIFG100 または FIFG250 大会については、ローカル大会の同時開催が可能です。組み合わせを分ける必要があり、レクリエーションライセンスの取得が推奨されます。

1 日あたりのプレー可能ホール数:FIFG 加盟国は、1 日最大 36 ホールまでの大会を開催することができます (18 ホール以上も可)。

3.2 世界ランキング

FIFG の各地域で開催される大会の結果に基づく、直近 12 か月のポイントを加味したグローバルランキングです。ランキング計算において、以下の大会での成績が考慮されます。

FIFG マスターズ	1
FIFG 1000	2 (各地域 1 大会まで)
FIFG 500	3
FIFG 250	3

合計:最大 9 大会 (地域を問わず)

3.3 地域ランキング

各地域の大会における年間の最高ポイントを基準とした地域ランキング:

	Region 1	Region 2	Region 3	Region 4	Region 5
FIFG 1000	1	1	1	1	-
FIFG 500	2	2	2	2	1
FIFG 250	3	3	3	3	3
FIFG 100	4	4	4	4	4
FIFG 50	2	2	2	2	2

*この構成の変更を希望する地域は、承認を得るための提案書を FIFG 競技委員会に提出しなければなりません。

3.4 ジュニアランキング

2026年より、ジュニアカテゴリーは男子ジュニアと女子ジュニアに分割されます。

FIFGユース委員会は、ジュニア選手がワールドまたは地域・ジュニアランキングにおいて公平な機会を得るために必要な遠征回数を制限することを目的として、新たなジュニアランキングシステムを導入しています。

ワールドランキング

FIFG1000/500	1
FIFG 250	2
FIFG 100	4

合計:最大 FIFG7 大会 (地域を問わず)

地域ランキング

FIFG1000/500	1
FIFG 250	2
FIFG 100	4
FIFG 50	4

合計:最大 FIFG11 大会 (地域を問わず)

*メジャーおよび FIFG 500 の大会は、ジュニアカテゴリーにおいて最大 500 ランキングポイントを付与するものとします。

2026年ユースワールドカップは、年齢別カテゴリーが導入されるため、ワールドランキングおよび地域ランキングの対象外とします。

4. FIFG 競技規則

4.1 カテゴリー

プレーヤーはワールドツアーライセンスを取得する際に、自身が所属するカテゴリーを選択します。

男子	他のカテゴリーに該当しないすべての男性プレーヤー
シニア男子 (45+)	1980 年以前生まれの男性プレーヤー
シニアプラス (55+)	1970 年以前生まれの男性プレーヤー
女子	ジュニアを除くすべての女性プレーヤー

女子シニア (45+)	1980 年以前生まれの女性プレーヤー (女子/女子シニアにおける一般カテゴリ)
男子ジュニア	2008 年以降生まれの男子プレーヤー
女子ジュニア	2008 年以降生まれの女子プレーヤー

ジュニアプレーヤーは、FIFG および FIFG 加盟国の承認を受けた場合、男子または女子カテゴリでの競技参加が可能です。

4.2 FIFG プレイヤーライセンス

FIFG ワールドツアーライセンス

FIFG の大会に出場する上で、プレーヤーは出生国または永住国の FIFG 加盟団体に所属し、ワールドツアーライセンス (WTL) を取得する必要があります。このライセンスなしでは FIFG 大会への登録するためには、WL を取得しなければなりません。ライセンス費用は 20 ユーロ (ジュニアライセンスは 10 ユーロ) となっており、支払うことで FIFG ランキングポイントが付与される大会に参加可能です。プレーヤーは、加盟国のそれ以外の追加ライセンスや会費を支払うことなく、すべての FIFG イベントに参加することができます。

ライセンスは、歴年で更新され取得月に関係なく翌年 1 月に更新されます。メンバーシップ取得後にランキングに掲載されます。

FIFG ワールドツアーライセンスの基本要件は加盟国のメンバーシップとなります。懲戒処分など加盟国のライセンスが剥奪された場合、ワールドツアーライセンスも自動的に無効となります。加盟国は、公式大会管理システムを変更し、FIFG 競技委員会とルール委員会に処分の詳細を 5 日以内に報告する義務があります。

加盟国が規則 4.5.1 で概説されている資格のないプレーヤーにワールドツアーライセンスを発行した場合、一件につき 50 ユーロの管理罰金が科されます。

非加盟国のプレーヤーは、FIFG (support@fifg.org) を通じて直接ワールドツアーを取得する必要があります。

レクリエーションライセンス – 新規

新レクリエーションライセンスは、新規のプレーヤーをフットゴルフ界に迎え入れるための FIFG の施策となります。アマチュアプレーヤーやフットゴルフを体験してみたいと思う人のために導入されるこのライセンスは、公式の枠組みの中でフットゴルフを体験する上で、手頃でアクセスしやすいものとなります。新レクリエーションライセンスは、フットゴルフを試してみたいと思うプレーヤーのための競技への入り口として機能し、構造化されているものの、コミットメントの少ない参加方法を提供するものです。これにより、フットゴルフをより包括的にし、参加者増加を促進し、プレーヤーが世界のフットゴルフコミュニティに参加するように促すことが可能となります。

レクリエーションライセンスの特徴:

- 入門アクセス: レクリエーションライセンス保持者は、FIFG100 大会に 1 度参加することが可能です。これにより、歓迎的な環境の中で競技フットゴルフを体験することができます。この参加に関する詳細条件は加盟国ごとに異なり、各国ごと柔軟性を確保しつつ、一貫した基準を維持します。
- 手頃な費用: このライセンス料金は 2.50 ユーロであり、新しいプレイヤーがフットゴルフを体験する際の費用的な障壁を取り除くことを目的としています。
- スムーズなアップグレード: フットゴルフを続けたいと考えるプレイヤーは、レクリエーションライセンスをワールドツアーライセンスへ簡単にアップグレード可能です。さらに、レクリエーションライセンスの 2.50 ユーロはワールドツアーライセンス取得費用に充当されるため、より高いレベルの競技に挑戦する際もスムーズに移行できます。
- 公式トーナメントソフトウェアシステムへの無料登録: レクリエーションライセンス保持者は、FIFG の公式トーナメント管理システム (BlueGolf) に無料で登録可能です。これにより、大会スケジュールの確認、参加履歴のトラッキング、成績の分析などを使いやすいプラットフォーム上で行うことが可能です。
- 加盟国へのサポート: 加盟国は、レクリエーション目的で FIFG のトーナメントシステム (BlueGolf) を追加費用なしで利用可能です。FIFG 50 大会レベルも無料で開催可能であり、レクリエーションプレイヤー向けのローカル大会をより簡単に運営することができます。
- レクリエーションライセンス保有者は、FIFG 50 大会に無制限で参加できます。

基準と行動規範:

フットゴルフのスポーツとしての健全性を維持するため、FIFG および各加盟国は、プレイヤーの行動が FIFG のルール、ワールドツアー規定、その他の規則と一致しないと判断した場合、レクリエーションライセンスの発行を拒否する権利を有します。この規定は、すべての参加者にとって公平でポジティブな競技環境を確保することを目的としています。

新レクリエーションライセンスは、単なる参加券ではなく、フットゴルフの国際コミュニティに本格的に参加するための第一歩となります。初心者の方も、ワールドツアーライセンスを取得して競技の世界に進みたい方も、このライセンスはフットゴルフを始める上で、競技にアクセスしやすく、また柔軟な出発点となります。

4.3 トーナメントの種類

より一体感のある FIFG コミュニティを築くために、世界中のさまざまなトーナメントを分類するための包括的なシステムを構築しました。この主な目的は、すべての加盟国とプレイヤーがアクセスしやすく有益な競技のピラミッドを確立することにあります。

- T1 FIFG ワールドツアーまたは FIFG 地域ツアーイベント: これらのイベントは、グローバルなトーナメントシステムを活用しており、FIFG メンバーのみが参加可能です。
- T2 FIFG 加盟国のトーナメント: 国内ツアーやランキングシステムに統合されているトーナメントが含まれます。FIFG メンバーおよび FIFG 加盟国のメンバーが参加可能です。
- T3 FIFG または FIFG 加盟国の提携トーナメント: 加盟国によって承認された施設で開催されるトーナメントが含まれます。

- T4 FIFG に認可されていないトーナメント (NST) : 加盟国またはその国境内で開催される非公認トーナメントです。
- T4.1 加盟国が主催する FIFG ワールドツアーまたは地域ツアーのイベントで、非 FIFG メンバーの参加を許可するもの。
 - T4.2 FIFG メンバーが主催し、非 FIFG メンバーの参加を許可する非公認トーナメント (競技委員会および理事会による非承認の可能性あり)。
 - T4.3 FIFG メンバーが主催する非公認トーナメントで、他の FIFG トーナメントとの調整が行われておらず、または競合するもの。
 - T4.4 非提携団体が主催する非公認トーナメント。
 - T4.5 加盟国と非承認の競合ツアーが共催または協力して開催するトーナメント。
 - T4.6 加盟国が主催するトーナメントで、競技委員会または FIFG 理事会の承認がない、エントリーフィーが 150 ユーロあるいは賞金総額が 5,000 ユーロを超える、FIFG ポイントが付与されないトーナメント。FIFG 1000 や FIFG 500 と競合してはなりません。

プレーヤーへの制裁・制約:

- T4.1 制裁なし。
- T4.2 制裁なし。ただし加盟国によって制限が課される可能性あり。
- T4.3 制裁なし。ただし加盟国によって制限が課される可能性あり。
- T4.4 1 回目の違反: 警告 (FIFG トーナメントの優先登録権を喪失)。
2 回目の違反: FIFG トーナメントから除外。詳細手続きは FIFG の懲戒文書に記載されます。

FIFG 加盟国への制裁:

- T4.1 調査が開始され、トーナメントは保留状態に置かれる。制裁金が発生する可能性あり。
- T4.2 調査が開始され、トーナメントは保留状態に置かれる。制裁金が発生する可能性あり。
- T4.3 ランキング対象外となる。制裁金が発生する可能性あり。
- T4.4 特定の制裁なし。
- T4.5 調査が開始され、将来のすべての加盟国トーナメントが保留状態に置かれる。調査が完了するまで加盟国は停止処分となります。加盟国の役員 (理事、会長、委員会メンバー、ルール担当者) がこのトーナメントに参加した場合、それは加盟国が支援したトーナメントと見なされ、加盟国が主催した場合と同じ制裁が適用されます。
- T4.6 調査が開始され、将来のすべての加盟国トーナメントが保留状態に置かれます。全ての詳細な制裁内容は、新文書内で公開され、あらゆる制裁の可能性を網羅されます。

国外でのトーナメント開催:

加盟国が他国でトーナメントを開催する場合、開催する国の公式承認を得る必要があります。これに関する合意について、少なくともイベントの1つ前の理事会で競技委員会および理事に提出しなければなりません。

審査プロセス:

すべての制裁は FIFG 加盟国による異議申し立ての対象となります。最終決定は加盟国および FIFG 理事会によって行われます。

加盟国の制限:

FIFG は加盟国の制約条件を支持します。すべての制約条件は FIFG (support@fifg.org) に通知する必要があります。

セクション 4.3 は現在全面的に見直し中であり、追って更新されるものとする。

4.4 大会ガイドラインおよび申請について

FIFG 加盟国は、競技委員会が定めたガイドラインおよび入札要件に基づき、大会開催の申請を行うことができます。

4.4.1 大会開催

マスターズ

FIFG マスターズ開催地は、競技委員会による入札プロセスを通じて FIFG 理事会が決定します。

メジャー大会 / FIFG 1000

メジャー開催地は、競技委員会による入札プロセスを経て FIFG 理事会に提出され、最終決定されます。各地域は、大会割り当てについて内部協議可能ですが、標準的慣行として入札プロセスの実施が推奨されます。

FIFG 500

FIFG 500 開催地は、競技委員会による入札プロセスを経て FIFG 理事会に提出され、最終決定されます。各地域は、大会割り当てについて内部協議可能ですが、標準的慣行として入札プロセスの実施が推奨されます。

FIFG 250

FIFG 250 は、資格のある全 FIFG 加盟国に割り当てられます。FIFG250 の大会は 3.1 の規則に従わなければなりません。

FIFG 100

FIFG 100 は、資格のある全 FIFG 加盟国に割り当てられます。FIFG100 の大会は 3.1 の規則に従わなければなりません。

すべての国は、2027年のナショナルオープンの開催予定日の提出を求められものとし、日程の割り当ては2026年7月1日に確定するものとします。その後、入札プロセスが通常通り実施されるものとします。

4.4.2 再割り当て

マスターズ

もし加盟国が大会開催を履行できない場合、他の加盟国または地域が年間開催枠を満たすために開催申請を行う権利を有します。

メジャー

もし加盟国または地域が開催枠を履行できない場合、他の加盟国または地域が年間開催枠を満たすために開催申請を行う権利を有します。

その他のトーナメント

FIFG 500、250、100の大会は、各地域内で3.1の規定に従って再割り当てが可能です。

4.4.3 大会日程の競合

マスターズおよびワールドカップ：日程重複は認められません。

	FIFG100	FIFG250	FIFG500	MAJOR
マスターズ	NO	NO	NO	NO
メジャー	YES	他地域	NO	NO
FIFG 500	YES	*YES	NO	NO
FIFG250	YES	YES	*YES	他地域
FIFG100	YES	YES	YES	YES

*同一地域内における250と500の日程重複は、250大会の主催者が当該の加盟国に連絡し、合意および調整を行った場合に限り認められます。これを怠った場合、次回の招致プロセスにおいてポイント減算の対象となります。

マスターズ開催日には、FIFGポイントが付与される大会や賞金付き大会を開催することは禁止となります。また、マスターズ開催日には国際大会を開催することも禁止です。違反した場合には罰金が科されます。上記の表に規定されたその他の日程重複が発生した場合、最高ランクの大会のFIFGポイントの2倍に相当する罰金（例：FIFG 250がメジャー大会と重複した場合は1,000ユーロの2倍）が適用されます。罰金の50%はFIFGによるユース育成資金となり、残りの50%は影響を受けた加盟国に支払われるものとします。

また、FIFGメジャー大会の開催期間中に、上位ランクのナショナルランキングイベント（各国のランキングシステムにおける上位2ティア）またはワールドカップもしくは地域選手権の予選を兼ねる大会を開催することは認められません。これについても上記と同様の罰金制度が適用されます。

主催者が何らかの理由で上位ランクの大会（FIFG 250 以上）の日程を変更する場合、可能な限り日程重複は避けなければなりません。

4.4.4 日程重複の解決

FIFG のグローバルな組織体制が継続拡大していることに伴い、大会日程の重複がより多くなっています。以下に、どの日程を移動させるべきかを決定するために考慮すべき基準を記載します。

- 当該国「オープン大会」の過去年度の開催日
- 国ごとのワールドツアーライセンス数（前シーズン + 入札締切時点の現シーズン分）
- 重複大会の FIFG ポイント。該当する場合、メジャー大会が優先されます。

すべての国は、入札書類において「オープン大会」の開催希望日、および第 2 希望日（第 1 希望日から最低 3 週間の間隔を空けること）を提示する義務があり、FIFG 競技委員会または FIFG 入札グループから、開催日の変更を要請される可能性があることを認識しておく必要があります。

FIFG 競技委員会は、どの国がオープン大会の日程を移動させなければならないかを決定する権利を有します。これに従わない場合、大会ポイントの剥奪となる場合があります。

4.4.5 大会基準

世界的に標準化した大会基準を確立するため、以下を作成しました。これらは遵守されなければならない、いかなる変更についても、FIFG 競技委員会に対して書面で申請し、承認を得る必要があります。

大会規模

最大参加者数:

- 1 コース：200 名
- 2 コース：380 名
- 3 コース：500 名（各カテゴリー最大 2 コース）

これらの上限人数は、日照時間や天候条件によって変更される可能性があります。全主催者は、悪天候時の対応として 1 日につき最低 2 時間の予備時間を確保することを推奨します。詳細なガイドラインについては、トーナメントガイドラインおよびコース設計基準に記載されます。

2 コース大会の運営

- 同じカテゴリーの選手は、同じコースで同じ日にプレーすること。
 - コース 1：男子
 - コース 2：女子、シニア、シニア+、女子+、ジュニア
- 大会ラウンド数
 - メジャー：3 ラウンド

- 500 : 2-3 ラウンド
- 250 : 2 ラウンド (1 日で実施可能)
- 予選落ち大会 (任意) : 大会 2 日目終了時点で各カテゴリーの下位 40-60%と同スコアの選手は「予選落ち大会」に参加する権利を有します。
- 予選落ち大会ルール:
 - 大会実施前に通知しなければなりません。
 - 予選落ち大会に参加するプレーヤーは別の順位表で競うこととします。
 - 本大会でのスコアはそのまま有効となります。予選落ち大会は追加競技となります。
 - 「予選落ち大会」は賞金を付与できません。その他の賞典は許可されています。

組み合わせ

- 同カテゴリーの選手は同じ組でプレーすることとします。
- 大会初日のみ、カテゴリー混合の組み合わせが可能。
- 競技日ごとにティータイムを入れ替えることとします:
 - 例 : 1 日目に女子が午前 9 時にスタートした場合、2 日目は最後の組でプレーすることとします。
 - スケジュール例 : 1 日目 : 女子、シニア、男子、シニア+。
 - 2 日目 : シニア+、男子、シニア、女子。
 - 天候が近い時は、最大カテゴリーは常に中間に配置することが望ましいです。例 : 男子が午前 8 時にスタートすると、最初の 1 時間は芝が濡れている可能性があり、後の選手は乾いた芝でプレーすることになるため公平性を考慮する必要があります。
- **FIFG メジャーのいかなるラウンド中もショットガンスタートは不可とします。全カテゴリーでティータイムを採用しなければなりません。**

組み合わせの決定方法

- オプション 1 : 現在の世界ランキング順。
- オプション 2 : ランダム抽選 (ただし、上位選手は同じ時間帯に配置) 。

スコアカード

- 各選手はスコアカードを受け取り、お互いのマーカーを認識するために 1 ホール目で交換する必要があります。
- ラウンド終了後、プレーヤーはスコアカードを確認し署名する責任を持ちます。
- スコアカードの結果とライブスコアが一致しているかを確認することはプレーヤー自身の責任です。
- スコア担当者は、すべてのスコアカードを適切に処理し、プレーヤーが指定されたスコアエリアを離れる前にすべての問題を解決する責任を持ちます。
- 公式オンラインスコアシステムとも照合し最終確認を行うことは必須です。

ティー

- 女子、ジュニア、およびシニア+カテゴリーに対しては専用のティーを用意しなければなりません。ただし、適切であると判断されるホールにおいては、男子およびシニアカテゴリーと同じ場所に設置することも可能です。

4.4.6 トーナメントポイント

選手には、その上の順位の 92%のポイントが付与されます。

例: FIG 100

1. 100
2. 92
3. 85

トーナメントポイントは、大会終了後 3 日以内に FIG 公式トーナメントソフトウェアへ登録しなければなりません。ペナルティ：各週、トーナメント資金の 50%。3 週間経過しても登録が完了しない場合、当該加盟国は 2 年間、FIG 1500、1000、500 の開催資格を喪失します。技術的な問題が発生した場合は、最初の期限前にサポートチーム (support@fig.org) へ連絡する必要があります。

4.4.7 トーナメントフィー

FIG 加盟国が FIG へ支払うトーナメントフィー

FIG 50	5 ユーロ	地域クラブ選手権基金
FIG 100	5 - 50 ユーロ	地域基金 (地域ごとの決定)
FIG 250	250 ユーロ	グローバル基金
FIG 500	500 ユーロ	グローバル基金
FIG MAJOR	1000 ユーロ	グローバル基金
FIG マスターズ	2000 ユーロ	グローバル基金

シーズン終了時のトロフィーや賞における賞典は、FIG によって予算化されます。トーナメントフィーの 60%は、プレーヤーのクレジット/賞金に充当されます。地域基金はこの配分には含まれません。地域基金は FIG によって請求され、普及や地域大会のために活用されます。地域は事前に予算案を策定し、FIG 会計担当者へ提出する必要があります。

前年のワールドツアー年間最優秀選手向けのトロフィーは、マスターズまたは最後のメジャーで授与されます。

料金支払い

料金 (メンバーシップ、大会、ライセンス、Bluegolf、その他) は毎月請求されます。FIG 加盟国は、この債務を最大 60 日以内に精算しなければなりません。支払いが困難な加盟国は、支払い計画を相談するため FIG 財務担当者に連絡する必要があります。期限内の支払いや連絡を怠った場合、次回の 500 大会またはメジャー大会の招致から除外されます。また、債務が解消されるまで、加盟国は FIG 250 大会を開催できなくなる可能性があります。

4.4.8 最低賞金総額

FIFG メジャー大会では、選手から集められたエントリーフィの最低 15%を、大会の賞金プールとして割り当てなければなりません。

FIFG 500 大会では、選手から集められたエントリーフィの最低 13%を、大会の賞金プールとして割り当てなければなりません。

最低賞金総額の数値については、各地域内で決定し、招致または割り当ての段階の前に、FIFG 競技委員会または理事会に提出して承認を得る必要があります。

最低賞金額の例（ユーロ）

エントリーフィ	100	200	300
選手数 100	1500	3000	4500
選手数 150	2250	4500	6750
選手数 200	3000	6000	9000

4.4.8.1 支払い

主催者は賞金をプレーヤーへ支払うために最大 30 日間の支払期限を有します。

また賞金の支払いは、現金のみとなります。この規則に従わない場合、開催国は 500 ユーロの罰金を科せられます。賞金に関する加盟国における税金の処理は、その加盟国の責任であり、適切な税務当局への申告・納税義務があります。

すべての主催者は、大会受付開始前に、賞金支払い手続きに関して選手へ通知する義務があります。

4.4.8.2 賞金クレジット

地域ランキング上位選手には、総額 13,500 ユーロの賞金クレジット（地域選手のみ対象）が授与され、全カテゴリーに分配されます。詳細な表は近日中に掲載される予定です。（2025 年度は、地域収入の 90%が賞金プールに割り当てられました）

ワールドカップ期間中には、総額 13,500 ユーロの賞金クレジットが設定される予定です。

4.4.9 公式トーナメント管理システム

公式システムは BlueGolf であり、FIFG が世界ランキングおよび地域ランキングで活用されます。BlueGolf は、加盟国がフルパックを購入することで、国内ツアーで使用することも可能

です。また、ライブスコアやプレーヤーのスタッツ管理にも活用できます。FIFG トーナメント管理チームは、すべての加盟国のサポートも可能となっています。

FIFG 250 以上の大会では、BlueGolf のライブスコアを使用することが義務付けられています。大会前にプレーヤーをトーナメントに登録し、ワールドツアーライセンスを保持していることを確認する必要があります。また、FIFG 250 以上の大会では、BlueGolf 以外のソフトウェアを使用することはできません。

4.4.10 トーナメント管理

管理チーム：

FIFG トーナメント管理チームは、マスターファイルが完成していることを前提に、加盟国主催のトーナメントをシステム内で作成します。このマスターファイルは、すべての加盟国の会長に送付され、これを所定の期限内に記入・提出する必要があります。

全加盟国は、このエクセルを使用して、「マスター」トーナメントカレンダー、開催地、および FIFG ポイントを更新する責任を負います。このエクセル文書は、シーズン前に送付されます。

FIFG トーナメント公式担当者：

FIFG は、各メジャー大会、FIFG 500、FIFG 250 の大会に対して公式担当者を任命する場合があります。この担当者は、大会がグローバル基準を満たしているかを遠隔または現地で確認する役割を担います（費用は加盟国負担）。FIFG トーナメント公式担当者は、大会において最高権限を持つものとし、その詳細についてはトーナメントガイドラインに記載するものとします。

トーナメント評価と報告

FIFG1000 および FIFG500 の全大会主催者は、所定の用紙を使用し報告書を提出する必要があります。FIFG250 以上の大会はすべて、翌シーズンの大会開催の審査資料として査定されます。また、FIFG500 と FIFG1000 の大会では、FIFG 公式担当者を招き、個別評価を実施しなければなりません。この担当者費用は、大会主催者の負担とします。詳細についてはトーナメントガイドラインに記載されます。

アンチ・ドーピング

アンチ・ドーピングの規則は、2025 年シーズンの全 FIFG1000、および賞金総額が 10,000 ユーロを超える大会に適用されます。

- 全大会主催者は、アンチ・ドーピング検査の実施に備え、必要な設備とスタッフを準備する必要があります。
- FIFG 1000 大会でランダムに実施されるドーピング検査は、2026 年度は FIFG が費用を負担し、FIFG および関連機関（ITA=International Testing Agency）によって対象者が無作為に選出されます。賞金総額が 10,000 ユーロを超える FIFG 1000 以外の大会に関しては、主催者が自己負担でアンチ・ドーピング検査を実施する必要があります。
- 標準規則として、登録選手 100 名ごとに 1 名のランダムなアンチ・ドーピング検査を実施するものとします（例：210 名の参加者の場合、2 名が検査対象）。公式の検査機

関は ITA です。全準備は大会 1 か月前までに完了する必要があります。期限を過ぎた場合、500~1,500 ユーロの追加費用が発生します。

- 全選手は、アンチ・ドーピングに関する教育を受け、オンラインテストに合格しなければなりません。
- 2026 年からは、全 FIG500 もアンチ・ドーピングプログラムに含まれるものとします。
- アンチ・ドーピング証明書を保持せずに大会に参加した選手がいる場合、メジャー大会では選手 1 人あたり 50 ユーロ、FIG 500 大会では 25 ユーロの罰金が適用されます。これらの費用は、当該選手が所属する加盟協会に請求されます。

スポンサー

FIG は、すべてのマスターズ、メジャー、および 500 大会において、FIG グローバルスポンサーを掲出す権利を有します。

2027 年より、FIG はワールドツアーに冠スポンサーを付与する権利を有します。

4.5 一般規則

4.5.1 プレーヤーの代表資格

プレーヤーは以下の条件に基づき、FIG 加盟国を代表することができます。

- パスポート
- 居住（最低 2 年間）
- 両親の国籍（同一のパスポートを共有する加盟国間のみに適用。また、過去 2 年間に他国を代表して出場していないことが条件となります）

過去に FIG ワールドカップ、各大陸選手権、または FIG ワールド/地域ツアーにおいて、特定の FIG 加盟国を代表してプレーした選手が、別の国の代表に変更することができる条件は以下のとおりです。

- 複数のパスポートを所持している場合
- 新たに代表を希望する国に、過去 2 年間継続して居住している証明を提出できる場合。国の変更は一度のみ認められます。

国籍変更承認には、FIG 理事会の書面による承認と、関係する両加盟国会長の同意が必要です。

プレーヤーおよび申請を求められている FIG 加盟国は、書面で申請を行う必要があります。申請書の提出日から最終承認までに最大 60 日間を要します。

すべての場合において、FIG 理事会は、国籍、市民権、居住地の問題、または待機期間の長さを含む関連事項について、一般的または個別の決定を下す権限を持ちます。

この特別な状況における変更は、生涯で 1 度のみとなりますが、FIG 加盟国が他の FIG 加盟国と統合された場合は例外とします。

4.5.2 プレーヤー行動規範

プレーヤーは、誠実に行動し、他者への配慮を示し、コースを丁寧にケアすることで、競技の精神を尊重してプレーすることが求められます。大会主催者、ヘッドマーシャル、およびFIFG公式担当者は、競技の精神に反し、FIFGまたは大会のローカルルールに違反する重大な不正行為を行ったプレーヤーを失格にする権限を持ちます。

FIFG公式大会では、アルコール、違法薬物の使用、および喫煙が厳しく禁止されています。

プレーヤーは常に礼儀正しく行動しなければなりません。大会主催者は、必要に応じて、いかなる理由であってもプレーヤーを大会から除外する権利を有します。

4.5.3 タイについて

タイとなった場合、主催者は全カテゴリーにおいて少なくとも1位を決めるプレーオフを実施しなければならず（「不可抗力」がある場合を除く）、2位と3位、または賞金・賞品を伴う順位を決めるプレーオフを追加で実施することが可能ですが、これを行う場合は大会前に通知しなければなりません。もし主催者が2位以下のプレーオフを行わないと判断した場合は、カウントバック方式が適用され、2位と3位を決定しそれ以下の順位は同順位扱いとなります。1位から3位までは通常のランキングポイントが付与されますが、4位以降の同順位についてはポイントが分割されます。

4位以下で同順位となった場合、該当する順位のポイントの平均値をすべての該当選手に付与します。（例: 3名の選手が10位で同順位となった場合、それぞれが最終的に10位、11位、12位に相当するため、この3つの順位のポイントを合計し、3で割った値が各選手に付与されます）。

全FIFGトーナメント（メジャー / FIFG 500 / FIFG 250 / FIFG 100）において、優勝を決定するためのプレーオフは3ホールで実施されるものとします。このプレーオフ後もタイの場合、追加のホールをプレーするか、ペナルティパット戦（最低5メートルの距離から5回のパットを各選手が行う）を実施し、それでも決着がつかない場合は、サドンデス方式のペナルティシュートアウトに移行します。

気象条件、日没、安全上の理由などによりプレーオフが実施不可能な場合は、主催者およびマーシャルの判断により、以下の方法で順位を決定します。36ホール、54ホール以上の大会の場合は、最終ラウンド（最後の18ホール）のスコアで順位を決定。18ホールの大会の場合は、最後の9ホール、6ホール、3ホール、2ホール、1ホールのスコアで順位を決定します。

4.5.4 異議、裁定、および罰則

異議申し立てが提出された場合、委員会は30日以内に決定を下さなければなりません。プレーヤーは規則の有効性を無視したり、科された罰則を無視したりすることに賛同することはできません。もしそのようなことが行われた場合、失格を含む規則違反に対する罰則が、時間の制限なく適用されます。

組織委員会と異議を申し立てたプレーヤーとの間で問題が解決されない場合、双方は FIGF の公式機関として機能する規則委員会に申し立てを行い、下された決定の公平性について意見を求めることができます。プレーヤーの異議申し立ては、最大 30 日以内に提出しなければなりません。

プレーヤーが遡及的に罰則を受けた場合、リーダーボードは更新され、賞金や賞品は主催者に返還されなければならず、トーナメント終了後に該当するプレーヤーへ再分配されます。罰則の適用期限は、トーナメント終了後 30 日以内とします。

FIGF は、独自に案件を実施する権利を有し、その案件の性質に応じて最大 180 日以内に行うことができます。プレーヤーまたは主催者は、案件の通知を受けてから 5 日以内に証拠や声明を提出しなければなりません。

大会レベルで解決できない異議を解決するためのプロセスと手順を明確にするため、包括的なプロトコルを確立するものとします。このプロトコルには、透明性と公平性を担保するため明確な手順とスケジュールが説明されているものとします。このようなプロトコルがない場合は、異議を独自に検討し、対処するための特別委員会が設置されます。また、解決に関わる審判員や委員会メンバー、その他の関係者に対して、脅迫や圧力をかけたり影響を与えようとする行為は固く禁じられており、重大な違反行為として扱われ、別途厳正な懲罰手続きの対象となります。

4.5.5 悪天候

主催者が大会を中断するような天候となった場合、プレーを完了したホール数が合計ホール数の少なくとも 50% 以上であるなら、全ポイントが配分され、大会結果は完了したホール数を元に決まります。

大会開始前に（洪水や動物による損傷などの）あらゆる事由により、ホールがアンプレヤブルであると宣告された場合、他の似たホール（同じパー、同じような距離）で代替するか、そのホールをキャンセルしなければなりません。3 ホール以上がアンプレヤブルであると宣告された場合は、コース全体がアンプレヤブルであるとみなし、ラウンドをキャンセルしなければなりません。

大会進行中に上記（洪水や動物による損傷など）が起きた際は、下記に記載される FIGF が承認したローカルルールに従い、トーナメントディレクターがホールをキャンセルし全選手にパーのスコアを与える権限を有します。試合中に 3 ホール以上がアンプレヤブルであると宣告された場合、コース全体がアンプレヤブルであるとみなし、悪天候の一般的な規則が適用されます。

4.5.6 コース設計

コース設計者は、アンプレヤブルなホールを防ぐために、強風や大雨などの自然の気象条件を考慮して設計しなければなりません。また、特にピンポジションを設定する際には、プレーヤーが適切なプレーペースを保てるようなコース設計をする責任も負います。

また、プレーペースに影響を与える可能性のあるホール（例えば、大きなウォーターハザードを越える必要がある場合）では、設計者とトーナメントディレクターがドロップゾーンやボールへのアクセスを容易にするための措置を講じる責任があります。

新しいコース設計基準は、2025年の第1四半期に発表される予定です。

4.5.7 大会登録指針

ワールドツアートーナメント登録プロセス

主催者は、ウェイティングリストを通じて、特別な優先順位を設けることなく、いつでも選手の入れ替えや追加を行うことができます。

マスターズ:

事前に出場資格を得たプレーヤーは、マスターズ参加に対して14日間の独占登録期間を有します。この期間終了後、すべてのプレーヤーが登録可能となります。

FIFG 250 - 1000:

2025年シーズンより、FIFG ワールドツアーの全主要トーナメントにおいては、全てのランキング上位プレーヤーに対して平等な機会を確保するため、標準化されたレジストレーションプロセスが必須となります。加盟国は、透明性とアクセス性を担保するため、登録開始日の少なくとも1日前までに、各募集ステージの詳細を公式ソーシャルメディアおよびBlueGolf内のトーナメントページで公表しなければなりません。これにより、すべてのFIFG ワールドツアーの全主要イベントにおいて一貫性、公平性、平等なアクセスが保証されます。

	登録開始日	トップ選手限定の登録期間
FIFG 250	大会開始 30 日前	最初の 10 日間
FIFG 500	大会開始 60 日	最初の 15 日間
FIFG 1000	大会開始 90 日前	最初の 15 日間

ランキング上位者グループ

「ランキング上位者グループ」は、大会登録時点の実際のワールドツアーランキングに基づき、カテゴリーごとに以下となります：男子トップ100名、シニア45+トップ75名、シニア55+トップ50名、女子トップ50名、女子シニアトップ20名、ジュニアトップ20名。

ランキング上位者は、指定された登録期間内に参加費を支払い、登録を確定させる必要があります。支払い完了時点で出場枠が保証されます。この期間中に登録を行った他のプレーヤーは全員、ウェイティングリスト入りとなります。ランキング上位者の登録期間が終了した後、他のプレーヤーも参加費を支払うことで登録を確定できます。このプロセスの詳細は、トーナメント主催者によって決定されます。もしウェイティングリストに異なるカテゴリーのプレーヤー

が含まれる場合、登録率に基づき以下の優先順位が適用されます：男子、女子、シニア 45+、ジュニア、シニア 55+。

ウェイティングリスト

「ランキング上位者グループ」に属するプレーヤーが期限内に登録せずウェイティングリスト入りした際は、空き枠が生じた段階でそのプレーヤーが優先的にトーナメントに参加できるようになります。ウェイティングリストに複数の「ランキング上位者グループ」のプレーヤーがいる場合は、空き枠ができた日時点のランキングで順番は決まります。異なるカテゴリーのプレーヤーがウェイティングリストに入っている場合は、以下の優先順位で適用されます：男子、女子、シニア 45+、ジュニア、シニア 55+。

すべてのプレーヤーは、事前に各トーナメントのキャンセルポリシーを主催者に直接確認することを推奨されます。FIFG は、トーナメントがキャンセルされた場合、FIFG メンバーまたはプレーヤーが被る損害に対して、一切の責任を負いません。登録およびキャンセルポリシーに従わないプレーヤーは、加盟国の提案により競技委員会から将来のトーナメント参加を禁止される可能性があります。

4.5.8 ローカルルール

主催者は、FIFG ルール委員会が承認するローカルルールの導入が認められており、これを事前に選手へ通知しなければなりません (rules@fifg.org)。FIFG 1000 と 500 の大会では、各国のローカルルールの承認を得るためにルール委員会に送付する必要があります。

ローカルルールは、トーナメント開始前にすべての選手に提示する必要があります。

FIFG 承認済みローカルルール

FIFG ルール委員会は、事前承認を必要としない以下のローカルルールを認めています。これらのローカルルールは、主催者が適用する場合と適用しない場合があります。FIFG トーナメント担当者が立ち会う場合は、この担当者が追加ローカルルールを承認する必要があります。FIFG 250 以上のすべての FIFG トーナメントでは、ローカルルールを大会の公式ウェブサイトに掲載する必要があります。

カテゴリ別ホール平均スコア (1 ラウンドあたり) :

+1.00 対パー数	大会委員会によるレビュー対象
+1.50 対パー数	ホールがプレー不可能と判断され、該当カテゴリーのすべての選手がパーとなる可能性がある

ハイソックス

ワールドツアー2025 の FIFG 250、500、メジャー/マスターズ大会でのプレーにおいては、膝丈のソックス (ハイソックス) を着用しなければなりません。

悪天候時

FIFG ルールに加え、上記「悪天候」に記載されているように、悪天候のためホールがプレー不可能と判断される場合、主催者は風速計または測定器を使用することができますが、その決定を行う際の風速や時間枠をプレー開始前に発表しなければなりません。

さらに、トーナメント全体の進行を妨げると判断されたホールを除外するために、ペース・オブ・プレーのガイドを採用することができます。この場合も、すべての情報をプレー開始前に共有する必要があります。

ペース・オブ・プレー

ペース・オブ・プレーの規制および管理は、FIFG 250 以上のすべての FIFG トーナメントで義務付けられています。ペース・オブ・プレー表の例は、トーナメントマニュアルに記載されています。（2026 年版についても近日告知予定）

4.5.9 主催者指針

主催者は、大会開始前にトーナメントディレクターおよびヘッドマーシャルの氏名を報告しなければなりません。

また、FIFG ルールブックのエチケットおよび行動に関するガイドラインを順守していれば、独自の行動指針を採用する権限を有します。

前シーズンの未払い会費や大会費用がある FIFG 加盟国は、支払いが完了するまで FIFG 大会を開催できません。

4.5.10 FIFG ロゴ

FIFG 非加盟組織のフットゴルフロゴの使用は禁止されており、違反した選手は失格となる可能性があります。

4.6.1 マスターズ 2027

マスターズの出場資格は追加予定。

W 杯出場資格 (TBC)

次回のワールドカップ（個人戦）の出場枠は、2025 年のワールドランキングおよび地域ランキングに基づき決まります。

今後のワールドカップにおいて、出場枠配分はワールドカップガイドラインに基に決定されます。全プレーヤー・アスリートは有効なワールドツアーライセンスを保持し、FIFG または関連組織が事前に公表する条件を満たす必要があります。懲戒処分を受けている選手はワールドカップに出場できず、取得の可能性があった出場資格も失効します。また、プレーヤーは、シー

ズン中に異なるカテゴリーに移行したとしても、資格を得たカテゴリーのみで競技が可能となります。

4.6.2 クラブワールドトロフィ 2027

FIFG クラブ競技に関するすべての情報は、クラブ専用の文書にて確定される予定です。

クラブ登録

選手は、FIFG クラブ枠組みにあるクラブのうちの 1 つのクラブに対してのみ登録可能です。これには選手が居住する国内のクラブだけでなく、他国や他地域のクラブも含まれます。

一般規定

責任制限条項

全ての FIFG トーナメントは、FIFG 基準およびガイドラインに準拠して大会を実施するよう選定された現地主催者（加盟国）および会場によって開催されます。本大会の開催を受け入れることにより、現地主催者および会場は、ロジスティックス、施設、安全、および大会中に発生した事故やクレームを含むもののこれに限定されない、大会運営のあらゆる側面について全責任を負うものとなります。

FIFG の責任範囲

国際フットゴルフ連盟（FIFG）は、大会の質と完全性を確保するために監督と一般的なガイドラインを提供しますが、FIFG は大会前、大会中、大会後に起こりうる事件、事故、負傷、損害、損失について一切の責任を負いません。現地の主催者および会場が、現地で必要な許諾、保険、安全対策を確保し、クレーム、紛争、損害が発生した場合の対応に全責任を負うものとなります。

参加者の責任受諾

本イベントに参列または参加することにより、全てのプレーヤー、スタッフ、関係者、観客は、イベント運営から生じる直接的または間接的な結果に対して、FIFG が責任を負わないことを認識し、承諾するものとなります。クレームや紛争は、選手権実施の責任を負う現地の主催者と会場に直接問い合わせなければなりません。

この責任制限条項は、すべての参列者および参加者の参加条件であり、現地の主催者と会場が、イベントの成功、安全、およびコンプライアンスに準拠することについて説明責任を負うことを認めるものとなります。

加盟国との契約

全ての FIFG 加盟国は、FIFG 大会を主催する際、責務と要件を明記した契約書に署名しなければなりません。署名がない場合、大会の開催資格は与えられません。

追加書類

以下の追加文書は、FIFG 競技規則の一部であり、本文書の不可欠な部分です。

- FIFG ルール
- コース設計基準
- 競技ガイドライン
- 懲戒規則

規則の変更

FIFG は、競技規則に変更が必要と判断した場合、既存の競技規則を修正したり、新しい規則を導入する権利を有します。こうした変更は、まず競争委員会によって評価、合意された後、FIFG の理事会によって承認される必要があります。承認された変更は、すべての加盟国に通知され、それによって競技は運用されます。

2026 年 1 月 19 日 FIFG 理事会承認済

FIFG 会長

アレクサンダー・クラバニャ

(仮訳であり、原文との相違がある場合には原文を優先する)